

いきいき介護職員初任者研修(通信)

個別研修計画(シラバス)

科目1 職務の理解				
指導目標	1. 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。 2. 介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1)多様なサービスの理解	2:00	2:00	0:00	(講義内容) ・介護の社会化と介護保険制度の創設 ・介護保険制度における多様なサービス ・介護保険外のサービス、社会資源との連携 (演習の実施方法) 介護についての認識やイメージについて個人ワーク・ディスカッションを行う
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	2:30	2:30	0:00	(講義内容) ・介護職の仕事と働く場所 ・介護の業務 ・介護サービス利用までの流れ (演習の実施方法) ・DVD視聴：職務の理解編長寿社会開発センター) ・施設見学：介護保険制度の多様なサービスの理解
(3)介護職員初任者研修の位置付け	1:30	1:30	0:00	(講義内容) ・日本の状況 ・初任者研修の概要 ・初任者研修とキャリアパスの関係 (演習の実施方法) ・介護職のイメージと概要についてディスカッション
科目1 時間数	6:00	6:00	0:00	
科目2 介護における尊厳の保持・自立支援				
指導目標	1. 介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し理解する。 2. 自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1)人権と尊厳を支える介護	5:00	0:45	4:15	(講義内容・通信学習課題の概要) ・人権と尊厳の保持 ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 (演習の実施方法) ・尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション等の考え方を取り入れた介護についてのワークショップ。
(2)自立に向けた介護	4:00	0:45	3:15	(講義内容・通信学習課題の概要) ・自立支援 ・介護予防 (演習の実施方法) 自立支援・介護予防についてどのような支援方法が適切かケース・スタディを行う
科目2 時間数	9:00	1:30	7:30	
科目3 介護の基本				
指導目標	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。			

科目3 介護の基本				
指導目標	1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。			

	2. 介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2:00	1:00	1:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種
				〈演習の実施方法〉 介護の目指す基本的なもの、介護職に求められる専門性、多職種との連携 についてディスカッション
(2) 介護職の職業倫理	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護サービスの公共性と職業倫理 ・利用者・家族に対する責任 ・社会に対する責任
				〈演習の実施方法〉 介護職の職業倫理をふまえた利用者や家族等への対応について個人ワーク
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2:00	1:00	1:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策
				〈演習の実施方法〉 事故や感染等介護におけるリスクを考えるワーク 事故や事故の要因、未然に防ぐ方法のワーク
(4) 介護職の安全	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・健康管理とストレスマネジメント ・介護職の労働の権利と労働法
				〈演習の実施方法〉 介護職の健康障害・ストレス、それらに対する健康管理についてディスカッションを行う
科目3 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

指導目標	1. 介護保険制度や障害福祉を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的を理解する。 2. サービス内容、サービス利用の流れを理解する。 3. 各専門職の役割、責務を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護保険制度	5:00	1:40	3:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護保険制度創設の背景、目的および動向 ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・制度を支える、組織、団体の機能と役割、財源 ・ケアマネジメント
				〈演習の実施方法〉 生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置付けを理解する個人ワーク 静岡市の介護保険制度サービスについて個人ワーク
(2) 医療との連携とリハビリテーション	2:00	0:40	1:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・医行為と介護 ・医療と介護の連携 ・リハビリテーション職種との連携
				〈演習の実施方法〉 介護福祉士が一定要件でできる医行為についてワーク

(3) 障害福祉制度制度およびその他制度	2:00	0:40	1:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要
				〈演習の実施方法〉 個人の権利を守る制度について事例検討 障害者総合支援制度の概説ワーク
科目4 時間数	9:00	3:00	6:00	

科目5 介護におけるコミュニケーション技術

指導目標	1. 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。 2. 初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護におけるコミュニケーション	3:00	1:40	1:20	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護におけるコミュニケーションの技法 ・ 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・ 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>共感、受容、傾聴スキルのロールプレイング</p>
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3:00	1:40	1:20	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非言語コミュニケーションについてロールプレイング ・ チームにおけるコミュニケーションとはを考える ・ コミュニケーションを促す環境 ・ 報告など ・ 記録における情報の共有化 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>記録の重要性に気づき、主なポイントを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者（言語、視覚、聴覚等）とのコミュニケーションの留意点を列挙するワークを行う
科目 5 時間数	6:00	3:20	2:40	

科目 6 老化の理解

指導目標	1. 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について生理的な側面から理解する。 2. 心身の変化や疾病について理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3:00	1:30	1:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>加齢・老化に伴う心身的変化についてロールプレイングを行う</p>
(2) 高齢者と健康	3:00	1:30	1:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・ 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>高齢者に多い疾病とその日常生活上の留意点についてディスカッションを行う</p> <p>高齢者に多い疾病の種類・症状についてのワーク</p>
科目 6 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目 7 認知症の理解

指導目標	1. 介護において認知症を理解することの必要性に気づく。 2. 認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 認知症を取り巻く状況	1:00	0:30	0:30	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 パーソン・センタード・ケア <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>パーソン・センタード・ケアの事例検討</p>
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1:45	0:45	1:00	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患別ケアのポイント ・ 健康管理と治療 <p>〈演習の実施方法〉</p> <p>物忘れと記憶障がいの違いケーススタディを行う</p>
(3) 認知症に伴うこころ	2:00	0:45	1:15	<p>〈講義内容・通信学習課題の概要等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴

				・認知症の利用者への対応 〈演習の実施方法〉 中核症状と基本的特性、及びその要因を列挙するワークを行う 認知症の利用者との関わり方、コミュニケーションについて事例検討
(4) 家族への支援	1:15	1:00	0:15	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護家族の現状の理解 ・介護家族による本人の理解とかわり方 〈演習の実施方法〉 家族の気持ち、受けやすいストレスを列挙するワーク 認知症の利用者の家族との関わり方の事例検討
科目7 時間数	6:00	3:00	3:00	

科目8 障害の理解				
指導目標	1. 障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解する。 2. 介護における基本的な考え方について理解する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 障害の基礎的理解	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念 ・障害者（児）とは 〈演習の実施方法〉 障害児（者）への介護対応の事例検討
(2) 障害の医学的側面 生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識	1:00	0:40	0:20	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・身体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・強度行動障害 ・難病 〈演習の実施方法〉 障害の種類、程度に応じた社会支援及び介護の
(3) 家族の心理、かわり支援の理解	1:00	0:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・家族への支援 〈演習の実施方法〉 介護者の介護負担の軽減についてディスカッション
科目8 時間数	3:00	1:40	1:20	

科目9 こころとからだのしくみと生活支援技術				
I 基本知識の学習				
指導目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 2. 安全な介護サービスの提供方法を理解し基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 3. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1) 介護の基本的な考え方	4:30	2:30	2:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・介護の基本的な考え方 ・重度化防止の視点 〈演習の実施方法〉 理論や法的根拠に基づく介護の基本的考え方に DVD視聴：介護編（長寿社会開発センター）
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3:30	1:30	2:00	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・高齢者の心理 ・自己実現と生きがいづくり 〈演習の実施方法〉 介護技術の根拠となる「こころのしくみ（学習、記憶、感情、意欲等）」に関する知識について グループディスカッションを行う DVD視聴：介護技術編（長寿社会開発センター）
(3) 介護に関するから	3:30	2:00	1:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉

だのしくみの基礎的理解				<ul style="list-style-type: none"> ・人体の名称とはたらき ・ボディメカニクスの活用 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック
				〈演習の実施方法〉 介護技術の根拠となる「からだのしくみ（人体の構造や機能）」に関する個人ワーク DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
科目9 時間数	11:30	6:00	5:30	

II 生活支援技術の学習

指導目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 2. 安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 3. 尊厳を保持し、自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(4)生活と家事	2:00	1:30	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 <ul style="list-style-type: none"> ・家事と生活の理解 ・生活援助（家事援助）に関する基礎的知識と 〈演習の実施方法〉 家事援助の具体的な内容について事例検討を行う DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
(5)快適な居住環境整備と介護	2:30	2:00	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 <ul style="list-style-type: none"> ・居住環境整備 ・福祉用具の活用 〈演習の実施方法〉 高齢者の状態に応じた在宅生活をイメージするワーク 住宅改修・福祉用具を活用した環境整備図のワーク DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）

(6)整容に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	7:30	7:00	0:30	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 ・整容の介護 ・衣服の着脱の介護 〈演習の実施方法〉 介護度や状態に応じた整容についてロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
(7)移動・移乗に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	12:30	12:00	0:30	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗の介護の基本 ・体位・姿勢の基礎知識 ・移乗を行う際の環境整備 ・移動・移乗介助に関連する福祉用具 ・心身の状態に合わせた移乗介助 ・移動を行う際の環境整備 ・移動介助と留意点 〈演習の実施方法〉 介護度や状態に応じた移動・移乗のロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
(8)食事に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事の介護 ・口腔ケアの支援技術 〈演習の実施方法〉 介護度や状態に応じた食事のロールプレイング DVD視聴；介護技術編（長寿社会開発センター）
(9)入浴、清潔保持に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助の基本 ・入浴介助に関連する福祉用具 ・入浴介助を行う際の留意点 ・入浴介助 ・清潔保持（清拭、陰部洗浄、足浴、手浴、洗髪） 〈演習の実施方法〉

				介護度や状態に応じた入浴、清潔保持についてロールプレイングを行う。 DVD視聴：介護技術編(長寿社会開発センター)
(10)排泄に関連したところ身体のしくみ自立に向けた介護	6:30	6:00	0:30	〈講義内容〉 ・排泄介助の基本 ・排泄介助に関連する福祉用具 ・排泄の介助 〈演習の実施方法〉 介護度や状態に応じた排泄のロールプレイング。 DVD視聴：介護技術編(長寿社会開発センター)
(11)睡眠に関連したところと身体のしくみと自立に向けた介護	3:30	3:00	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の介護 ・その他の福祉用具 〈演習の実施方法〉 介護度や状態に応じた睡眠のロールプレイング。 DVD視聴：介護技術編(長寿社会開発センター)
(12)死にゆく人に関連したところと身体のしくみと終末期介護	3:30	3:00	0:30	〈講義内容・通信学習課題の概要等〉 ・老いと衰えの理解とその対応 ・ターミナルケアの実際 〈演習の実施方法〉 ターミナルケアの利用者、家族への対応方法の検討 DVD視聴：介護技術編(長寿社会開発センター)
Ⅱ生活支援技術の学習時間数	51:00	46:30	4:30	

Ⅲ 生活支援技術演習				
指導目標	1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(13)介護過程の基礎的理解	2:30	1:30	1:00	〈講義内容〉 ・介護過程の基礎的理解 ・介護過程の展開の実際 〈演習の実施方法〉 ケース・スタディにて介護過程について検討し、どのように反映し自立につなげるかワーク。
(14)総合生活支援技術演習	10:00	9:00	1:00	〈講義内容〉 ・演習1：事例検討1 ・演習2：事例検討2 ・演習3：事例検討3 〈演習の実施方法〉 利用者に対する適切な支援方法の検討をディスカッションにて行う 利用者に対する適切な支援計画の検討
Ⅲ生活支援技術演習時間数	12:30	10:30	2:00	
科目 10 振り返り				
指導目標	1. 研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再確認を行う。 2. 就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
研修概要	時間数	うち通学	うち通信	内容・実施方法
(1)振り返り	3:00	3:00	0:00	〈講義内容〉 ・学習到達度の振り返り 〈演習の実施方法〉 介護職としての基礎的知識・技術の習得について個人ワーク
(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	1:00	1:00	0:00	〈講義内容〉 ・事業所の現場等における事例に学ぶ 〈演習の実施方法〉

				研修を通じて学んだこと・今後継続して学ぶ課題 について個人ワーク
科目 10 振り返り時間数	4:00	4:00	0:00	
総時間	時間数	うち 通学	うち 通信	
	130時間	91時間 30分	38時間 30分	